

丹波中学校だより

# 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成27年6月29日(火)

No. 7

文責 丹波中学校長 梶原勝由

## 予告なし避難訓練(地震)

6月24日(水)、避難訓練を実施しました。この避難訓練は、生徒や教職員に前もって伝えないで行う「予告なし」訓練でした。つまり、突然行う訓練を実施しました。しかも、清掃中という教師の目が行き届かない時間帯に行い、生徒たちがどのようにして「自分の判断で自分の命を守ることができるか」をねらいとしました。地震の想定は震度5弱。震度5弱とは？

- 人の体感・行動  
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 屋内の状況  
電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
- 屋外の状況  
まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。

避難するという事は、とても勇気のいる決断です。けれども、その決断によって自分の命も周りの命も救うことがあります。自然災害は人間の力ではどうしようもありません。地震にせよ崖崩れや落石等崩落にせよ、ある程度の予測が出来るだけで、自分の命を守ることができるのです。そのためには、

- (1) 頭を守る
  - (2) 落下物や転倒物を避ける
  - (3) 人に頼らない — 想定にとられるな！ その状況下で最善を尽くせ！
  - (4) 家族で避難場所等を話し合っておく。「休日等、遊びに〇〇に行く」など
- また、警戒宣言の発令及び震度5弱以上のときは、以下のような対応をお願いします。(6月25日配布済み)

警戒宣言発令	保護者の対応
登校前 (休業日)	学校から連絡があるまで自宅待機。保護者の保護下で行動させる。
在校中 校外活動中 (校外学習等)	<b>連絡の有無に拘わらず、直ちに引き取りに行く。</b>
震度5弱以上	保護者の対応
登校前 (休業日)	学校から連絡があるまで自宅待機。保護者の保護下で行動させる。
在校中	<b>連絡の有無に拘わらず、直ちに引き取りに行く。</b>
校外活動中 (校外学習等)	連絡の内容を確認し対応する。 状況により引き取りに行く。

## 県選手権柔道大会 1回戦突破！

6月28日(日)、小瀬武道館に於いて、県選手権柔道大会がありました。本校から2年生の嶋崎龍弥君が個人戦に出場し、みごと1回戦を突破しました。県総体での活躍を期待しています。



## 夏だ！プールだ！

6月2日(火)にプール清掃でプールをきれいにし、29日(月)にはプール開きを行いました。清めの儀式を生徒会長とともにやり、安全を祈願しました。

これから、体育で水泳の指導に入りますが、プールカードに記入が漏れていたり、プールカードを忘れた場合は、泳ぐことができません。ご了解ください。



## 期末テスト後の勉強方法

### 復習が大事

朝日中高生新聞(2015.05.17)より

テストが終わり、「良い点をとれた。次も頑張ろう」で終わっては、テストを受ける目的を達成したとはいえません。テストを受けた後こそ大切です。自分が「分かる」と「できる」ことを区別するのが、テストを受けるねらいの一つです。テスト後の先生の説明を受けて理解することと、実際に問題を解けることはまったく別物です。

自分では「できる」と思っていた問題ができない—そうならないように取り組むのが復習です。高校受験でも方法はそう変わりません。復習は3回することを勧めます。

1回目は、テストを受けた当日。答え合わせをしながら、解き方の流れが合っていたかを確認します。英語や数学は時間が足りなくて最後までたどり着けない生徒が多い科目。どうすれば効率よく解答できたかを振り返り、次に向けてシミュレーションしておきます。

得意な教科は「間違えた原因を探る→その対策」という流れができてはいるはず。この方法を苦手な教科にも取り入れます。ミスした部分は教科書を読み返し、理解があやふやな点は必ず補強します。

2回目の復習は数日後。時間の配分を考え、全ての問題を解き直します。

3回目は次のテストが近づいたとき。同じミスを繰り返さないように心がけ、もう一度問題を解きます。復習のポイントが分からなければ先生に聞きます。英語の長文が解けないというなら語彙や文法の理解が不十分だけでなく、国語の読解力にも問題があるのかもしれない。アドバイスをもとに弱点をとらえることが大事です。

人によって違いはありますが、勉強の成果がでるまでには2・3ヶ月ほどかかります。「勉強したはずなのに」と不安な気持ちになるかもしれませんが、自分を信じて取り組む姿勢が重要です。